

おお大勝利

平成 30 年度山東サッカー部報第 2 号 (4 月 17 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Yリーグ開幕戦 長井に辛勝

4 月 14 日 (土) いよいよシーズン開幕。今年山東は高円宮杯 U18 山形県リーグの 2 部 A ブロック (以後 Y2A¹) を戦う。昨年は Y1 を戦い、無残にも散った。後半勝ち点を取れないことは予想通りだったが、前半も 7 試合で勝ち点 8 では少なすぎた。前半折り返しの時点では 5 位くらい (残留順位) だったにせよ、後半のことを考えると少なすぎた。というので、今年は爽やかに Y2 を戦う。爽やかに、というのは、自分たちの実力を考えたとき、Y1 は不釣り合いで、拮抗した Y2 のレベルで必死になって勝ち点を争いたいという意味。もちろん選手には、「**Y2 だったら勝てるなんて、甘く考えてはダメ**」というメッセージをずっと発し続けてきた。選手たちも、**これまで Y2 や Y3 のチームとやって互角だったり負けたりしているのに、勘違いし様がない**。ただ目標は県総体で 1 位を目指すという高いものなので、「Y2 では勝てなきゃいけない」とは思っているだろう。それが慢心につながらないようにしなければならない²。

会場は米沢市営人工芝サッカーフィールド (通称米沢 SF)。キックオフは第 4 試合ということで 16:00。14:00 からの試合の主審は山東 (私)。**Y1 の主審は協会から派遣され、各チームの帯同審判は副審のみ**なのだが、**Y2 以下は自分たちで主審も務めなければならない** (2 試合に 1 回の割合で主審か、副審 2 名かが割り当たる)。正直な話、公式戦でこここのところずっと主審はしていなかったし、4 月 7 日腰をギクッとやっけてしまい、不安が残るなかでの主審は出来れば避けたかった³。しかも、12 時過ぎに会場に行き気づいたのですが、次戦 (第 3 試合) のためアップしているチームが山形城北と羽黒 B。すなわち山形城北と羽黒 B との Y2A 頂上対決の主審と気づく。「聞いてないよ～」と言いたかったが、自分が確認してなかっただけ。その大役を何とかやり遂げ、ベンチに着くと、**清野後援会名誉会長とその同期の工藤先輩、そしてわれらが後藤報道局長**の「いつものお三方」がいらっしやっている。昨年後半はとても寂しい思いをお三方にさせてしまったので、**今シーズンは成長した姿を見せたい**。そして、その思いは保護者の方にも言えて、いつも厚い支援と熱い応援を頂戴しているのですが、昨シーズン後半はそれを裏切る試合しかできず、歯痒かった。**秋冬で成長した姿をぜひ見せたい**、と思う⁴。

¹ Y2 は AB の 2 ブロック制。Y3 は ABCD の 4 ブロック制 (ただし Y3 は上位下位ブロックあり)。

² ただ、もっと根本的に言うと、「県総体で優勝」という目標の前に、県総体出場を決めなければならない。**今年のチーム、秋からずっと、「県総体に出れずに終わることもあるぞ」と脅しをかけてきた。そして、それへの恐怖を、トレーニングの活気に換えてきた**。M リーグの組み合わせも決まり、GW の 5 月 3 日山形工業、5 月 5 日上山明新館に標準を合わせたいと思います (この 3 チームで 1 位になると県総体決定、2 位だと別ブロックの 2 位とやって勝つと決定)。

³ 4 月 8 日の入学式では準備だけして式典には出ず帰宅しました。8 日は一番状態が悪く、おじいちゃん状態。学校に行くのもためらう状態でした。

⁴ 毎試合のことですが多くの保護者の方が応援に駆けつけて下さいました。**今年山大医サッカー部に入部したカスマ**も応援に来てくれ、後輩にもアドバイスをしてくれました!

相手は長井高校。県新人では堅い守備と鋭いカウンターで、日大山形を最後まで苦しめた。選手には「対戦して自分たちよりも上と感じた新〇北と同じレベル、同じチームカラー」と紹介し、難敵であると言いつつも、悪い時間もしっかり耐えて勝機をつかむよう指示。**先発には、新入生のツノダとヤグチが名を連ねた**⁵。1月の右足首骨折を必死に回復させた3年**フトシ**主将も、**定位置 CB** で出場。ピッチ内ではやたらとダミ声になるのですが、自分のプレーだけでなく、ダミ声でチームを動かし鼓舞してもらいたい。

さて、試合が開始されると、落ち着かないなか徐々にペースを握ったのは山東。**FWの3年タカヒロ**がスローイン(?)を受けてドリブルし、角度のない位置から放ったシュートがバーに当たったり、中央をドリブルで切り裂き、惜しいシュートを放ったりするも、ネットを揺らせず。**タカヒロとオサのFWの連携で前半のうちに得点したかった**のが本音(今後のことを考えるとそういう得点が求められるから)。ボランチの**3年キクチャン**や**ヨーティ**は守備では頑張っているが、攻撃ではうまくタクトを振るってはいえないし、守備でもこぼれ球(セカンドボール)の回収率が低く、相手に奥深くまで攻め込まれている。山東CKも多かったですが、長井のCKも多い⁶。しかし、**GKホタテ**が積極的に飛び出しボールにチャレンジし、落球することはあっても相手にプレーさせず。そうこうした前半の中盤、左CKを**2年ノズ**⁷がきれいにゴール前に蹴ると、ファーサイドでそれに合わせたのが**1年CBヤグチ**。きれいな**ヘディングシュートが決まり、山東先制**。ずっとセットプレーからの得点を望んでいたし、前日の練習の成果が出てうれしい。その後、DFラインを破られ、長井に独走を許し、GKと1対1のシーンを作られるも、**ホタテがナイスセーブ**を見せ、事なきを得る。**このホタテのビッグプレーが大きかった!** 前半1対0。

後半は30分くらいまでずっとボールが落ち着かず、かといって日大山形のように落ち着かないボールをフリック等で相手ゴールに運び続けるわけでもなく、中身の無い内容。最後の方で、右サイドから攻めてニアサイドに**FWオサ**が走りスルーパスをスライディングで逆サイドに打ち、ポストをかすめたシーンが印象に残っているがそれくらい。あと**右SHヤマモト**がカットインしてスルーパスを出したが、受け手が反応できなかったシーンも思い出せる。最後やや山東の時間だったかもしれないが、終始安定感は欠いていた。最後の最後、またしても相手にCKを与えてしまい、ヒヤヒヤしましたが、何とか凌ぎきり、**結局そのままのスコアで勝利**。

内容は反省、結果は御の字。次節も応援よろしくお願ひします。

4月21日(土) Y2A第2節 VS 山本学園A 10:00~ @白鷹町東陽の里G

今年、東陽Gの試合(4/21、7/16)は各自現地集合となります。8:30集合、14:00解散。保護者の皆様のご理解をお願いします。第3節4/30は予定では東陽会場でしたが、山形市球技場に変更となりました!

⁵ 私の記憶で、いきなり1年生2人がシーズン初戦に先発したのは、(私が山東監督を務めたこの)13年で初めてのこと。2・3年生の名誉のためにも、2人が素晴らしいと言っておきましょう。ツノダはジェラール出身(中学は陵南)、ヤグチはアスキー出身(中学は陵東)。

⁶ その理由の一つとして、**守備時にボールとゴールを結ぶ直線上に位置し続ける基本**を守れず、サイドで相手に先に縦に行かれていますので、遅れて出す足にボールが当たり、ゴールラインを割っているという状況の多さがあります。直線上に位置し続けると、ボールに足が当たって跳ね返る方向はゴールラインと逆側になることが多いので、ボールが出るとしてもタッチラインが多くなり、与えるとしてもスローインとなります。

⁷ **ノズは派手なプレーヤーではないが、アグレッシブな球際、ヘディングの強さで、チームにしっかり貢献**。長井の監督さんからもそうですが、**相手チームから褒められることが一番多い選手**です。相手ボールホルダーに対して直線的に奪いに行きつつ交わされても粘ることの出来る選手であり、遠い距離で止まってしまう(当たっている振りをする)選手や一度交わされると粘れない(軽い)選手、しかもノズよりも自分の方がうまいと錯覚している選手は、**なぜノズの方が相手からの評価が高いのか、よく考えてみるべきだ**。